

大学における TOEFL Junior® の活用

～「読む」「聞く」の2技能を“世界基準”で測定する～

グローバル・コミュニケーション&テストング
代表取締役社長 **梅澤 直臣** 氏



明治大学 国際連携機構
特任准教授 **横川 綾子** 氏

早期から世界基準の試験を受けることが語学力向上につながる

グローバル化が急速に進む現在、グローバル人材の育成は日本社会全体の課題とも言える。そのグローバル人材になるための第一歩は国際共通語として知られる英語を使いこなせることだろう。本稿では、TOEFL Primary & TOEFL Junior を運営するグローバル・コミュニケーション&テストング(本社東京・港区)の梅澤直臣代表取締役社長と明治大学(東京都千代田区)国際連携機構の横川綾子特任准教授に、日本人の語学力の現状や外部試験の活用方法について、お話をうかがった。

「日本のビジネスマンの英語力の現状と課題について教えてください。」
横川 私はビジネスマンの英語力をテーマに長年TOEIC事業に関わり、社会人の方々のスコアの平均点の変化を公開テストや団体実施試験を通じて見てきました。その中で感じるのは、平均点は着実に伸びてきているということですが、しかしながら、それでも残念なことに日本人の英語力やコミュニケーション能力は、世界ではまだまだ十分に通用する状況にはありませんでした。この事態を何とかしなければいけないということで、最近では文部科学省を中心に、「TOEFL Junior」留学JAPAN」などの英語力向上に向けた

「大学生の英語力の現状と課題についてはいかがですか？」
横川 いまの大学生は意見を聞き取ることに、聞いたものをそのまま発音することが上手です。授業を行っている中で、英語が上達する素地が大きいと感じます。中学校・高等学校の授業ではペーパーワークやグループワークが取り入れられていますが、参加型の授業にも比較的抵抗がありません。そうした点は言語習得に関する点では、いいと思います。また、いまの時代はネット

「横川特任准教授は、4月から明治大学で勤務されていますか？」
横川 平成29年3月末まで東京海洋大学でTOEIC



明治大学 国際連携機構
特任准教授 **横川 綾子** 氏

よこがわ・あやこ ●平成26年よりTOEFL iBT® Propell Facilitator、平成28年よりTOEIC® Propell Workshop Instructor、TOEFL Junior® / TOEFL Primary® Teacher Workshop Instructorとして活躍。東京海洋大学でTOEIC統括教員を経た後、現在は明治大学国際連携機構で特任准教授を務める。



TOEFL PrimaryやTOEFL Juniorの受験の必要性について、それぞれが熱い想いを語った



「TOEFL Primary & TOEFL Juniorの歴史は長いですか、難易度が高いのでしょうか？」
横川 TOEFL iBT、TOEFL Primaryの歴史は長いのですが、難易度が高いという声が多いです。現在は英語が主眼の早期英語教育が行われており、その中で子どもたちの学習レベルや進捗がきちんと測れるテストが必要になってきています。TOEFL PrimaryやTOEFL Juniorが新しい誕生品です。

「TOEFL iBTの世界比較データは、日本の英語力はアジアの中でも非常に低いとされています。この点から

「明治大学ではグローバル人材の育成に向けて、どのような特色を取り組みを行われていますか？」
横川 平成21年に文部科学省の「グローバル30」に採択されたことで、本学のグローバル化が一層加速し

「必要について改めて教えてください。」
横川 TOEFL JuniorはTOEFL iBTのジュニア版です。TOEFL iBTの1番のメリットを挙げるとすれば「どのような場面でも、どのような情報処理能力を問うか」という点がクリアであることです。それは「学校や大学で英語を介して学ぶ時に必要となる英語の情報処理能力を測る」というもので、具体的に言うと、TOEFL Juniorであれば、英語圏の中学校や高等学校といった英語が必要なシチュエーションで、先生の指示が分かるか、教科書が読めるか、提示された課題ができるか、友人と話せるか、といったような英語で学ぶ環境についていけるか、その時に必要となる情報処理能力がどれくらいあるかを測ります。アカデミックな環境が想定されていますので、英語力を身につけようとしている生徒や学生たちの語学力を測るのに非常に適しています。

「高校生や高校の先生にどのようなことを伝えたいですか？」
横川 高校生には自分の中で「どのような英語ユーザーになりたいのか」というイメージを早めに持つことが大切です。それはローモデルが必要だと思われ、私の場合だと、海外のミュージシャンに憧れて「こんな風にカッコよくしゃべりたい、歌いたい」といった理想像を早めに描いてほしいです。

「TOEFL Juniorは、TOEFL iBTのジュニア版として、英語圏の中学校や高等学校で使われていますか？」
横川 TOEFL Juniorは世界中の幅広い年齢層で受験されていますが、日本では小学生がTOEFL Primaryを受けてきたなかで、TOEFL Juniorを受験してきている小学生が、日本では非常に少ないです。

「TOEFL Juniorは、TOEFL iBTのジュニア版として、英語圏の中学校や高等学校で使われていますか？」
横川 TOEFL Juniorは世界中の幅広い年齢層で受験されていますが、日本では小学生がTOEFL Primaryを受けてきたなかで、TOEFL Juniorを受験してきている小学生が、日本では非常に少ないです。

「TOEFL Juniorは、TOEFL iBTのジュニア版として、英語圏の中学校や高等学校で使われていますか？」
横川 TOEFL Juniorは世界中の幅広い年齢層で受験されていますが、日本では小学生がTOEFL Primaryを受けてきたなかで、TOEFL Juniorを受験してきている小学生が、日本では非常に少ないです。



グローバル・コミュニケーション&テストング
代表取締役社長 **梅澤 直臣** 氏

うめざわ・なおとみ ●一般財団法人日本国際協力センターに入社し、その後TOEIC®公開テスト等を運営する国際ビジネスコミュニケーション協会の常務理事、TOEFL Junior®等を運営するグローバル・コミュニケーション&テストング取締役を歴任。現在は同社で代表取締役社長を務める。

参加費 無料 第5回グローバル・コミュニケーション&テストング 主催セミナーのお知らせ

「次世代型英語教育へのチャレンジ」

グローバル化と英語教育改革が進む中、身につけるべき真の英語力とは？

- 大阪会場** 場所: 新大阪 公文教育会館 (〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-6-6) 日時: 9月3日(日) 13:00~17:30
- 東京会場** 場所: 渋谷 FORUM8 Event Hall キングスクエア (〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-10-7 新大塚ビル) 日時: 9月24日(日) 13:00~17:30
- 対象** 小学校・中学校・高等学校・大学の教職員、教育関係者の方々

* 詳しい内容や申込み方法等は、公式ウェブサイトでお知らせいたします。ぜひご参加ください。



2017年度 第2回公開テスト開催概要

TOEFL Junior® TOEFL Primary®

世界基準で「読む力」「聞く力」を測定 大学入試でも120以上の大学で活用 受験料: 4,320円(税込)

世界に飛び出す、はじめの一步 受験料: 3,880円(税込)

- テスト実施日** 12月10日(日)
- 申込期間** 9月21日(木)正午~10月26日(木)
- 実施会場** 東京・名古屋・大阪(全3会場)

* 公開テストのほか、学校・団体受験も可能です。テストの詳細・お申込みは公式ウェブサイトをご覧ください。

お問い合わせ GC&T Global Communication & Testing TEL 03-6836-0125 [平日9:30~17:30] E-mail info@gc-t.jp 公式サイト http://gc-t.jp/

